

JADID 2021

Japan-Australia Defence Industry Dialogue

Organised By



Japan-Australia

Security and Space Cooperation

日本とオーストラリアは、東ティモール、カンボジア南スーダンなど、数多くの国連平和維持活動に協力してきました。また、イラクでも非常に緊密な協力関係にありました。2019年7月には、日本はオーストラリアのタリスマンセーバー演習に米国と共に参加しました。

同年9月、オーストラリア空軍(RAAF)は北海道の空自千歳基地において航空自衛隊(JASDF)と共に、二国間戦闘機演習「武士道ガーディアン 19」を行いました。さらに最近では、2020年11月、日本は、インド洋で毎年行われる恒例のマラバール海軍演習に、オーストラリアおよび他の QUADメンバーである米国、インドと共に参加しました。

1か月後、オーストラリア宇宙庁の支援を受けた宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、「はやぶさ2」から小惑星「リュウグウ」のサンプルが入った宇宙カプセルを回収することに成功しました。日本とオーストラリアの間の防衛および宇宙に関する協力はますます強力になっています。

この勢いを増すために、ISIC Japanは、日豪防衛産業ダイアログ(JADID)というタイトルの新しいウェビナーシリーズを開催します。JADIDシリーズでは、国家と産業の両方での防衛および宇宙における協力とパートナーシップによる日豪の防衛連携の拡大、またその強化について考えます。



ダイアログの内容と目標

各回、防衛/宇宙産業基盤に影響を与える特定の問題に焦点を当て、ディスカッションを行います。JADIDでは、政府の政策と合意、輸出入管理、調達、情報交換、産業セキュリティ、M&A、サプライチェーンの強靱化などをトピックスとして取り上げます。JADIDの目標は、両国が産業的関係を強化する機会を見つけることです。

ダイアログのプログラムについて

JADID 2021は、ライブストリーミングされた90分のウェビナーシリーズで、3～5人のパネリストが参加し、聴衆からのインタラクティブなQ&Aも行われます。プレゼンテーションは録画され、イベント後に字幕付きで閲覧できます。

モデレーター – Guy Boekenstein

主催 – ISIC Japan

プロデューサー – Bloom Pacific

開催 – Coming soon、四半期開催(毎回90分)

所属 – 学会、財団、メディア

スポンサー – 公共、民間団体

JADID 2021
Moderator
Guy Boekenstein



Guy Boekensteinは、2007年に日本の防衛研究所を卒業した最初のオーストラリアの民間人です。その後15年以上日本関連の問題に従事、オーストラリア国防省で5年以上、日本との二国間防衛関係の調整に従事しました。

また米国との初期の三国協カイニシアチブを含む、日本の防衛省と自衛隊とのさまざまな政策イニシアチブの開発と実施を主導しました。オーストラリア国防相の上級顧問であり、2+2の閣僚政策の議論や日本との業界イニシアチブにも取り組んでいます。



陸
海
空
宇宙

Into the Future



Strengthening Security
Through Dialogue
JADID 2021

